

～タイトル～

「みらいの教員育成プログラム」釧路モデルの実施報告 No.2 (2023 年 9 月 30 日実施)

～本文～

9 月 30 日 (土) 7:00～16:00, 「教員基礎」の第 2 回目 (学校実習 1: 阿寒湖義務教育学校) が実施されましたので, 概要を以下ご紹介します。

【プログラムの内容】

阿寒湖義務教育学校にて, 各自の配属学級の授業観察や休み時間における児童とのかかわりを通して学校の日常に触れ, その後前回の授業で設定した自分の目標と関連させて学校実習 1 の振り返りを行うことが今回の主な活動内容でした。

【ガイダンスと自己紹介】

初めに高橋校長先生と南教頭先生から学校の特色や実習の流れなどの説明を受けました (写真 1)。その後全体で児童と対面し, 自己紹介をしました。その際, 児童からいくつかの質問を受けました。アニメ等に関する質問では, お互い共通に知っているものや好きなものが一致していると控えめな歓声が沸き, 徐々に心の距離が近づく兆しが見られました (写真 2)。

【配属学級における活動】

それぞれ配属された学級にて, 授業観察や児童との交流が行われました。例えば, 低学年の学級等は児童とゲームをして交流することから活動が始まっていました (写真 3)。3 年生の学級では, 児童らが生徒に学校を案内する活動をしていました (写真 4)。児童たちは多少緊張しながらも生徒に校内を案内していました。一方生徒は接し方に戸惑いながらも真剣に説明している児童らに連れられて校内を散策していました。

この日の授業観察した教科は, 国語や社会, 図画工作などでした。生徒たちは授業の様子を熱心に観察し, 気づいたことを記録していました (写真 5)。

【休み時間における児童とのかかわり】

体育館においてドッジボールやバスケットボールをしたり (写真 6), 教室でカードゲームをして楽しく交流することができました (写真 7)。「一緒に～しよう」と児童からの声掛けもあり, 少しずつ関わりをもつことができました。授業時間に加え, 休み時間の児童の様子も知ることができ, いろいろな場面で関わることの大切さや楽しさを実感することができる有意義な時間となりました。

【防犯教室への参加】

この日の 2 時間目は, 外部講師による防犯教室でした。2 年生から 6 年生の児童とともに, スマートホンの使う上で注意しないと友人関係の崩壊, 生活のリズムの乱れや思わぬ危険に晒されることを学びました。具体的には友人とのメールのやり取りにおける言葉の使い方が誤解を招くこと, ゲーム等に夢中になることが生活のリズムを乱し学校生活に影響を及ぼしたり, 深刻化するとゲーム障害という病気

にまで至ってしまうこと、ネット上で知り合った人を信じて直接会うことが犯罪に巻き込まれることにもなりかねないことです。事例をもとに児童とともに真剣に考えながら学んでいました（写真8）。

【学校実習1の振り返り】

前回の授業で設定した自分の目標と関連させてエピソードの記述し、それに対する考察を各自が行いました。その後、異なる配属学級の生徒間で交流し、どんなことをしたのか、それについてどう考えたのか等をお互いが報告し合い、今回の学校における活動の振り返り学んだことを確認し合いました（写真9）。

【学校実習2に向けた授業分析と目標設定】

附属釧路義務教育学校前期課程で実施された授業をもとに演習をしました（写真10）。具体的には、第2学年の道徳の授業について、実際の授業動画を視聴して記録をシートに残し、教師の意図と実践のズレや児童の様子等を分析・考察しました。また、附属釧路義務教育学校前期課程について「わかったこと」と「実習で見たいこと・聞きたいこと」を書き出し、具体的な学校実習2の目標を設定しました。

（写真撮影・文責：星裕，越川茂樹）

掲載写真

写真1：阿寒湖義務教育学校でのガイダンス



写真2：高校生の自己紹介



写真3：児童とゲームでの交流



写真4：児童による学校案内



写真5：授業観察



写真6：休み時間の交流



写真7：休み時間の交流



写真8：防犯教室への参加



写真9：学校実習1の振り返り



写真10：学校実習2の目標設定

